経営学部

経営学科

No.	テーマ	内容	教員名
42	企業の福利厚生の重要性を考える	従業員は仕事で頑張る代わりに、企業から給料をもらい、さまざまな福利厚生の支給をも受けます。福利厚生は企業福祉とも呼ばれ、「法定福利厚生」と「法定外福利厚生」のように大きく分類されます。企業は法律で定めている厚生年金保険、健康保険、介護保険、雇用保険、労働者災害補償保険、子ども・子育て拠出金の費用を負担しなければなりません。また、企業が独自に社宅・寮、人間ドック・スポーツ施設利用費補助、レクリエーション、社員食堂、資格取得援助、災害見舞金、結婚祝い金、リフレッシュ休暇などを従業員に提供したりします。福利厚生は企業と従業員にとってどういったメリットがあるのでしょうか、また、なぜ高校生や大学生は就職先を選ぶ際に福利厚生の充実度を重要視しているのでしょうか、具体的な事例を踏まえて考えてみましょう。	王 文亮
43	チョコレートから学ぶ環境の話	みなさんが大好きなチョコレートが、安くておいしい裏には理由があります。私たちは、どんな商品を選び、どの生産者を応援すれば良いのか、消費者の権利と責任について考えてみましょう。	小田 奈緒美
44	生活の様々なリスクと保険	車で事故を起こしてしまった。地震で家が倒れてしまった。家族員が病気で入院してしまった。火災で家が焼けてしまった。こうした事態が起きてしまった場合、賠償・現状回復・生活費補填といった経済上のリスクが発生します。この授業では、生活上の様々なリスクについて考えるとともに、それらのリスクに対応した各種保険を紹介します。	古寺 浩
45	パーソナルファイナンスと ファイナンシャルプランナー	様々な経済的諸課題を抱える今日、生活者が自己責任のもとに生涯にわたってライフスタイルを実現していく上で、パーソナルファイナンスの重要性はますます高まってきています。この授業では、パーソナルファイナンスに必要な知識や技術について考えるとともに、専門職としてそれをサポートするファイナンシャルプランナーという資格の紹介をします。	
46	公的年金制度の仕組みと国民年金	わが国には公的年金制度がありますが、制度そのものが5年ごとに見直され大きく変わることがあるため複雑で分かりにくいと言われています。しかしその基本理念や構造そのものが大きく変わるわけではありません。この授業では、公的年金制度の仕組みを概観し、その中の国民年金のみを取り上げ、保険料と保険金の関係を計算によりシミュレーションします。	
47	株式投資に挑戦！	名古屋証券取引所主催の株式投資コンテスト（10月中旬～12月中旬）への参加を通してバーチャルな株式投資に挑戦します。超低金利時代にあって物価の上昇を上回る資産運用ができなければ手持ち資産は目減りしてしまいます。 日々のバーチャルな株式売買とその運用状況から株式投資のメリットやデメリットを体感し、「貯蓄から投資へ」の意味について考えます。	
48	所得税・住民税とふるさと納税の活用	自分のふるさとや応援したい自治体に寄付をすると、自分が納めるべき所得税や住民税が還付されたり控除されたりします。また、寄付をして応援した自治体からは、特産品などのお礼の品が届きます。お得なことばかりのようにも思えるふるさと納税ですが、気を付けるべきこともいくつかあります。この授業では、税金の仕組みについて学び、正しく理解した上で、ふるさと納税をどのように活用したら良いのかということについてわかりやすく解説します。	
49	老後の生活資金準備とiDeCoの活用	「老後2000万円問題」で話題となった金融審議会の報告書については賛否様々ありますが、報告書の中では現役時代から長期積立型で国内外の商品に分散投資することが推奨されています。この授業では、個人型確定拠出年金、いわゆるiDeCoについて、老後2000万円問題と絡めながら、掛金に伴う節税効果、運用利益における非課税効果、運用成果受け取り時の非課税効果について解説し、老後資金を効率的に準備するための活用法を紹介します。	
50	経営学の知識をいろいろ使ってみよう！	経営学や企業経営と聞くと、ちょっと難しそうなイメージがありますよね。でも実は結構、身近なことをいろいろと考えたりします。会社も企業も「人」の集まりです。「人」がやる気を出したり、一生懸命働いたりして成り立っているのです。実は、経営学は、そんな「人」の気持ちや行動について研究する学問でもあるのです。「人」の気持ちや行動について考えることは、みなさんも日頃からよくやっていることだと思います。そんな日頃から考えていることを、経営学はどんな風に解き明かしているのでしょうか。ちょっと考えてみましょう。	小室 達章

金城学院大学　2025出前授業

51	人を動かすキャッチコピー （対面授業のみ）	テレビCMやポスターに使われている、わずか１行で人を振り向かせる広告のキャッチコピー。その魅力に、東京コピーライターズクラブ会員の教員が迫ります。ライバルとの違いがわからない商品も、人ごとにしか思えない社会問題も、伝え方ひとつで人の心を動かす言葉の力を、実際にコピーを考えるワークショップで体験してください。授業が終わる頃には、物事を今までと違った角度で見ている自分に気づくはずです。	都築 徹
52	社会問題にワクワクする答えを （対面授業のみ）	この授業は「社会問題は誰かが解決してくれる」と思い込んでいる人が対象です。学生といっしょにビニール傘の使い捨てを防止するために愛着が湧くハンドルカバーを開発したり、食の大切さに気づいてもらうために1,500文字の説明を読まなければ料理が食べられないレストランをオープンしてきた教員が、正しいだけで終わらない、ワクワクするアイデアの発想法を教えます。	
53	福祉社会学のはなし	一般に「福祉」とは「人びとの幸福」を意味しますが、すこし限定的に言えば「社会的に弱い立場にある人びとへの援助」となります。みなさんにとって「福祉」は自分事ですか？他人事ですか？今日の日本は、国家がさまざまな制度にもとづいていろいろな福祉サービスを提供する「福祉国家」であり、人びとが「福祉」について理解し、関心を持ち、具体的に行動している「福祉社会」でもあります。けれども、福祉の制度は財政を圧迫するから減らすべきだという声や、福祉をごく限られた〝困難な状態〟にある人びとだけの問題とみる考え方もあります。私たちの生活と「福祉」の関係を、特定の価値観に囚われない「福祉社会学」の視点から解説します。	時岡 新
54	ビジネスや日常生活に活かそう、経済学の視点！ （対面授業のみ）	『経済学については良く知りません』と思いこんでいる人も、お金を使って必要な商品やサービスを売り買いしていますよね？そう。誰もが経済活動の輪の中に参加しています。実は、経済学の視点は、身近なビジネスや社会の仕組みのなかで有効活用されています。身近な様々な事柄を影で支えている経済学の視点について、一緒に発見しましょう！	中村 岳穂
55	分析的な態度で地域づくりを	世の中の色々な場面で、課題を発見するための分析的な態度が重要になってきています。皆さんも、探究学習をはじめ様々な科目でそのことが求められていると思います。この授業では、普段なにげなく住む「地元」を題材に、そこでの地域づくりにおいて、分析的な態度がどのように役立つかを考えていきます。例えば地理的な情報を分析できれば、生活に必要な施設のより効果的な配置を考えられます。人口予測データは、皆さんが大人になった時に地元でどのような役割が求められるのかに触れることができます。そうした分析的な態度によって、新しい発見を、ふに落ちる形で理解できる楽しさに触れていきましょう。	畠山 正人
56	自分を好きになる心理学	変化のスピードが速く、不確実な世界のなかで一生を共にするのが「自分」。自分を深く理解して全てまるっと好きになることができれば、人生は確実に豊かなものになります。 心理学の知識とワークを通して自分の心と出会い、心の声に耳を傾けてみましょう。すると、あなたが本当に求めているものや進むべき道が見えてくることでしょう。	前川 由未子
57	消費者団体の役割と活動	消費者団体について、どのように始まったのか、どんな種類の団体があるかについて整理します。消費者政策における役割や市民・社会の認識、現在の活動など、日本と海外の比較を交えながら紹介していきます。	丸山 千賀子

※ 授業は約５０分を予定しています。

【お申込み・お問い合わせ】
金城学院大学　入試広報部
電話：0120-331791　e-mail：nyushi@kinjo-u.ac.jp

本学公式サイト